

生薬学 1 再試験

2006年2月16日実施

問題 1 (10点)

生薬とは、植物・(A)動物の薬用とする部分、細胞内容物、(B)分泌物、抽出物または(C)である。

- (1) Cにあてはまる適切な言葉を答えなさい。
- (2) A~Cに属する生薬を1種ずつあげ、その生薬について説明しなさい。

問題 2 (15点)

- (1) 日本薬局方生薬総則に規定された生薬の形状による分類について説明しなさい。
- (2) 生薬の品質評価における基原の確認の重要性とその方法について説明しなさい。
- (3) 生薬の品質の良否を判定するための方法について説明しなさい。

問題 3 以下の文章を読み、問に答えなさい。

いわゆる「柴胡剤」と呼ばれる処方は、柴胡と (*Scutellaria baicalensis* を基原とする生薬①) が配合されている一連の漢方処方群であり、「邪」がからだの「表」から深部へ移行しかかって、「半表半裏」に存在している病態を治療するとされている。その代表的な処方である小柴胡湯は、柴胡、「生薬①」、半夏、(*Panax ginseng* を基原とする生薬②)、(*Zingiber officinale* を基原とする生薬③)、大棗、(*Glycyrrhiza uralensis* を基原とする生薬④) の7種類の生薬が配合され、こじらせたカゼや (A) などの疾患に使用される。また、柴胡は漢方医学における五臓の肝、心、脾、肺、腎のうち (B) の病態と深く関わるため、柴胡剤は (B) の失調にともなうストレス性疾患にも応用される。その代表的な処方は、安神作用のある竜骨や牡蠣などが配合された (C) や、(*Cinnamomum cassia* を基原とする生薬⑤) や修治した「生薬③」が配合された (D) である。

(1) (A) - (D) 内に適切な言葉を入れなさい。(3点×4=12点)

(2) 文中に登場する生薬①-⑤について、その基原植物が属する科、植物名、生薬として使用するときの薬用部位、生薬名、薬効(薬理または薬能)を書きなさい。(2点×5×5=50点)

(3) 下線部「小柴胡湯」について、臨床で使用する上での「使用上の注意(副作用や併用禁忌など)」を説明しなさい。(6点)

問題4 以下の各症状を訴える患者さんに対して、適当と考えられる漢方処方を考え、その理由を説明しなさい。なお、いずれの患者さんも、薬局に相談に来る程度の軽医療分野で適応できるものとする。(処方2点、理由3点×2=10点)

(1) 36歳女性。下痢と便秘を繰り返し、便秘になると腹が張って引きつるよう痛むが、お腹を押さえると楽になる。便ははじめは硬く、後はころころとした兔糞便か下痢になる。疲労により悪化する。



(2) 44歳女性。いわゆる更年期障害。生理になると発熱したりイライラして怒りっぽくなる。顔ものぼせて、頭痛や肩こりもひどくなる。経血の色は濃く、量も多い。



問題5 ドーピング検査に陽性反応が出てしまうため、スポーツ選手に処方する際に注意が必要な生薬を2つあげなさい。また、そのうちの1つについて、効能効果、配合される漢方処方、「使用上の注意(副作用や併用禁忌など)」を説明しなさい。(生薬名2点×2、説明7点=11点)

問題6 以下の用語について、説明しなさい。(6点×2)

- ①有効成分と指標成分 ②上薬、中薬、下薬

問題7 以下の記述についての正誤を○×で指摘し、誤っている場合はその誤りを正して説明しなさい。(3点×8=24点)

- ① 漢方エキス製剤は、どこのメーカーで製造されたものでも同名であれば基本的に同じものである。
- ② 地黄は補血、補陰作用など、補う作用が強いので、胃腸虚弱の患者にも使用できる。
- ③ 「広防已」を日本薬局方のボウイの代用品として使用してもよい。
- ④ チンピは、グレープフルーツジュースの薬物代謝酵素阻害活性成分と同じ成分を含むため、薬物相互作用に注意が必要である。
- ⑤ 中国で市販されている当帰を、日本でも局方品として使用できない。
- ⑥ 白朮と蒼朮は同じ薬能を持つので、どちらを使用してもかまわない。
- ⑦ 健康食品として使用される生薬も、国が品質を規定している。
- ⑧ ジギタリスの葉は、ジゴキシンを含み、強心薬として使用される。